

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第13回会議
開催日時	令和2年12月18日(金) 13:30~15:00
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 基本設計について (1) 変更点について (2) その他
配布資料	資料1 基本設計(概要版)
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	1 基本設計について
(1) 基本設計について	
①変更点について (説明: 新庁舎整備推進室)	
・ 新庁舎に求められる機能と規模	
基本計画からの面積の検討経過と、各機能ごとの面積の内訳について説明した。	
・ 検討プロセス	
補助事業の有無にかかわらず一次エネルギー消費量を50%以上削減するZEB Readyを目指すことを明記した。	
・ 配置計画	
町の象徴となる建物として国道からの視認性を高めるため、取得を予定している民有地については建物を建てず公園として整備する。	
・ 平面計画 B 1 F	
電気室・発電機室を集約し、トイレを職員と来庁者で共有できるように変更、時間外の窓口となる警備員室を来庁者出入り口近くに変更、1階フロアを有効に使うためサーバー室を地下に変更した。	
・ 平面計画 1 F	
サーバー室を地下にしたことでできたスペースをサポート室とし、リモート会議や集中ブースとして使う個人ブースを設ける。	
・ 平面計画 2 F	
議場西側にあった展望バルコニーを廃止し、議場内に収納スペースを設置、議員ロッカー一室を設置、屋上ひろばは規模を小さくして設置する。	
・ 事業計画 全体事業スケジュール	
公民館を解体するため、令和3年4月1日より利用停止、また、概算工事費については22億円程度を積算している。	
②その他 (説明: アトリエブング)	
・ 外構計画	
取得を計画している民有地は公園として整備し、現在の国道の歩道をハードな舗装で拡幅して、ゆったりと歩ける空間としたい。また、町外から市街地に入る際に最初に目につく場所であるため、建物の前庭をイメージしている。	
国道側の擁壁は、現在のようなただのコンクリートブロックの擁壁とはせずに、土壁の	

<p>ような仕上げにすることで自然が感じられるようなイメージとしたい。町民が参加して植栽をするようなことも期待している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ フェーズフリー計画
<p>日常時の価値が非常時の価値にもつながるフェーズフリーに考え方を庁舎整備に取り込み、ハードやソフトで危機（災害など）が発生したときの脆弱性を減らして被害を最小限に抑える。</p>
<p>本町において起こりうる災害とそれによる被害を洗い出し、施設として災害時に活用できる機能を整理することで、弱点の克服を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 模型写真、透視図
<p>じゃがいもストリートの内装については、土や藁を練りこみ畑をイメージした階段、吹き抜けの壁面は地域材（トドマツ）を使用し、南向きのハイサイドライトからは自然光が差し込むことで、小清水らしさを感じられる空間を目指している。</p>
<p>議場は、特徴のある構造であり、音を拡散する効果が期待できるアーチ状のヴォールト天井、吸音効果があるタイルカーペット、木目の美しい木材を使用した屏風壁などを検討している。</p>
<p>資料編のにぎわいゾーンは、具体的な内容や配置を表現しているが、決定されたものではなく、これからも検討を進める。</p>
<p>【質疑応答】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ まちかどひろばに植樹を計画しているが、管理や片付けが大変なので葉が落ちる木はやめた方がいい。また、ひろばが利用されるように人を集めるには何かの仕掛けが必要だと思う。
<p>→ 具体的な利用や管理の方法はこれから検討する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 庁舎の周りには多くの広場の整備が計画されているが、冬の利用も想定しているのであれば除雪しやすい形状にした方がよいのではないか。また、ナナカマドなどの実がなる木は、小鳥が来て散らかしていくので清掃が大変になる。
<p>→ 冬期間に広場を積極的に利用させるかについては未定である。樹木は、管理しやすく、四季を感じられるものにしたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 温泉の掘削費用は、工事費に含まれているのか。温泉の有効利用のためにも目立つ場所、利用しやすい場所に足湯を作って欲しい。
<p>→ 掘削費用は工事費に含まれていないため、補助金や民間と連携した事業を検討して</p>

<p>いる。</p>
<p>防災ひろばの整備計画をこれから進めて行くが、足湯を整備するのであれば、防災ひろばの中で検討したい。</p>
<p>■ 温泉熱を利用する計画だが、有効な源泉の確保が見込めるのか。温泉が出なかった場合はどのように考えているのか。</p>
<p>→ 詳細な調査はこれからになるが、専門家からは温泉が出る可能性は高いと言われて いる。ただ、温泉が出ないことも考えられるため、その場合は実施設計の中で別な熱源を検討する。</p>
<p>■ 国道側の擁壁は高さがあり圧迫感があるため、カラフルな明るい色にペイントしてはどうか。</p>
<p>■ 今の国道側の擁壁は高くて一帯が暗いイメージがあるため、歩道を歩きたくないので、明るいイメージにして欲しい。</p>
<p>■ 擁壁は土壁もいいが、耐久性の高い木材も検討して欲しい。</p>
<p>→ 擁壁は2段階になるため、現在よりも低くなり、今よりは圧迫感は少なくなるように考えている。合わせて擁壁の前への植樹やライトアップなどで、親しみを持てるイメージを作っていきたい。色や仕上げの選定は、これから検討していく。</p>
<p>■ にぎわいゾーンにはカウンターや受付があるが、愛ホールのクロークのように使わなくなると倉庫になるようなことにならないように検討して欲しい。</p>
<p>→ にぎわいゾーンについてはまだまだ精査が必要であるため、早急に運営組織の設立準備を進め、詳細について詰めて行きたいと考えている。</p>
<p>■ フィットネスゾーンは、スタジオなどが壁で仕切られているが、多目的に使えるよう壁のない構造がよいのではないかと。</p>
<p>→ 音や温度、湿度を用途に合わせてコントロールするため、最低限必要な区分けをするために壁を設けている。</p>
<p>■ ワタシノ丘についてのイメージはいいのだが、人が集まる空間とするために具体的に何をするの分からない。</p>
<p>→ じゃがいもストリートは、登るためだけの階段ではなく、登りたくなる、座りたくなるように考えていきたい。今後は、言葉だけではなく、模型やイラストで示せるように考えている。</p>
<p>■ 町にはクリエイターがたくさんいるので、文化活動を支援する意味でも積極的に柱や壁面を使って作品を展示できるようにして欲しい。</p>
<p>→ 町の情報発信にもつながるため、これから具体的に検討していきたい。</p>